



令和4年(2022年)第49週 2022年12月5日(月)~2022年12月11日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



●インフルエンザ流行入り

熊本市では「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、市内の医療機関のうち25か所を定点として、インフルエンザについて発生動向調査を実施しています。

この調査結果によりますと、2022年第49週(12月5日(月曜)から12月11日(日曜)まで)における市内のインフルエンザ患者の定点医療機関当たりの報告数^{※1}が、1.00となりました。

(※1 定点医療機関当たりの報告数: 定点医療機関からの一週間の総報告数 ÷ 定点医療機関数)

厚生労働省では、例年、この数値が「1」を上回ると、「インフルエンザの流行入り」としており、本市において、本格的に流行シーズンを迎えました。引き続き感染予防に努めましょう。

なお、今後、「定点医療機関当たり10」を上回った場合には市内全域にインフルエンザ注意報を、同じく「30」を上回った場合にはインフルエンザ警報を発令します。



◆感染対策は？

- ① 流行前のワクチン接種
- ② 外出後の手洗い等
- ③ 適度な湿度の保持
- ④ 栄養、休養、睡眠を十分に取る
- ⑤ 人混みや繁華街への外出を控える



2022.12.11現在	1/定点	10/定点	30/定点	10/定点	
流行シーズン	流行入りした週	注意報レベルに達した週	警報レベルに達した週	警報解除した週	累計患者報告数
2022/2023 令和4年/令和5年	令和4年 第49週 (12/5~12/11)				70
2021/2022 令和3年/令和4年	流行なし				3
2020/2021 令和2年/令和3年	流行なし				1
2019/2020 平成31(令和元)年/ 令和2年	令和元年 第41週 (10/7~10/13)	令和元年 第50週 (12/9~12/15)	警報レベルに達する前に注意報解除 令和2年 第05週(1/27~2/2)		3974
2018/2019 平成30年/平成31年	平成30年 第49週 (12/3~12/9)	平成30年 第52週 (12/24~12/30)	平成31年 第2週 (1/7~1/13)	平成31年 第7週 (2/11~2/17)	6405
2017/2018 平成29年/平成30年	平成29年 第47週 (11/20~11/26)	平成29年 第51週 (12/18~12/24)	平成30年 第2週 (1/8~1/14)	平成30年 第10週 (3/5~3/11)	9762
2016/2017 平成28年/平成29年	平成28年 第49週 (12/5~12/11)	平成28年 第4週 (1/25~1/31)	平成29年 第4週 (1/23~1/29)	平成29年 第11週 (3/9~3/15)	6657

期 間		2022年 48週		2022年 49週	
		11/28~12/4		12/5~12/11(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↑	15	0.60	25	1.00
RSウイルス感染症	→	15	0.94	14	0.88
咽頭結膜熱(プール熱)	→	1	0.06	0	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	2	0.13	0	0.00
感染性胃腸炎	→	93	5.81	83	5.19
水痘(みずぼうそう)	→	2	0.13	3	0.19
手足口病	↑	11	0.69	17	1.06
伝染性紅斑(りんご病)	→	0	0.00	1	0.06
突発性発しん	→	9	0.56	10	0.63
ヘルパンギーナ	→	11	0.69	10	0.63
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	0	0.00	0	0.00
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	↑	1	0.20	4	0.80
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00